



小泉小学校通信No.9

令和7年10月31日

郡山市立小泉小学校

校長 左雨 貴子

『小泉フェスタ』大成功

10月25日(土)に行われました『小泉フェスタ』を参観いただきましてありがとうございました。92名の参観がありました。学校評議員さんや子どもたちを合わせると約140名を前に子どもたちは、これまでの学習の成果を堂々と発表することができました。大変ありがとうございました。

『小泉フェスタ』は、学習の成果を発表するとともに、子どもたちの表現力向上が目標の一つです。多くの人の前で話したり、体を動かしたりすることは、少人数の小泉小学校にとって、とても貴重な機会となっています。発表内容は、今年の4月から学習してきたことを生かして、担任と子どもたちが考え、工夫して発表しました。4月に6名の新入生を迎え、全校児童44名の現在まで、大きく成長している子どもたちの姿をご覧いただけたことと思います。昨年度までは、子どもたちは会場で参観しておりませんでしたが、今年度は、他の学年の発表を参観する「学びの場」としました。子どもたちが日ごろの学習の成果を自分の言葉や表現で伝える場です。お友達と協力して準備や練習を重ねる中で、自分の考えをまとめたり、相手に分かりやすく伝えたりして、**表現力を高めることができました**。また、これまでの努力を舞台の上で発揮することで、自分の力を出し切ったという**達成感**を味わうことができました。発表を通して、学んだことが人に伝わり、喜んでもらえたときのうれしさは、次の学びへの意欲につながることで期待しています。

「小泉フェスタ」は、子どもたちが学びを深め、人として成長する貴重な教育活動となりました。この機会を通して、子どもたちは、自分の成長を感じるとともに、クラスで協力して一つの発表をつくり上げたという**学習成就感**を得ることができました。



子どもたちが一年間の学びを通じて成長し、ここで発表できたことを大変嬉しく思います。皆様の温かいご支援とご協力があってこそ、子どもたちは自信を持って発表することができました。

これからも、子どもたちの成長を見守り、支えていただきますようお願い申し上げます。

小泉小学校長 左雨 貴子

「明健中学校区3校交流学习」in 郡山自然の家

10月22日(水) 郡山自然の家で、小泉小・行健二小・明健小の5年生が、3校合同交流学习を実施しました。グループで様々なアトラクションに挑戦し、夢中になって活動しました。お互いに声をかけ、励ましたり、応援したりするなど交流を深めました。この交流活動は、中学校で一緒に学習する仲間と交流をすることで、進学後の人間関係への不安が軽減され、適応がスムーズになることをねらいとしています。



明健小中連携事業の一環として、毎年5年生の時期に、3校で行っている交流活動は、郡山市内で3校のみです。同じ中学校で学ぶ仲間とのつながりをつくる大切な機会となり、6年生での英語交流学习でも、活動を通して、互いのよさを認め合い、協力し合うことで、新しい友達づくりのきっかけになります。

また、自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いたりする中で、**コミュニケーション力や協働する力が育ちます**。初めて出会う人と関わる経験は、**中学校生活への安心感や自信**にもつながります。このような交流を通して、地域の仲間としてともに成長していくこうとする気持ちが高まり、これからの学校生活を前向きに迎える力が育まれることが期待されます。

富久山地区文化祭に出展されます

<展示期間>

11月1日(土) 9:00~16:00

11月2日(日) 9:00~15:00

<展示場所>

富久山公民館(富久山総合学習センター)

<絵画の部>

1~6年生 各1人

<書写・硬筆の部>

1~6年生 各1人



全国学力調査の結果から見える小泉小の学び

今年度、小学6年生を対象とした全国学力調査の結果を見ると、本校の**国語と理科では、市や県、全国の平均を上回る成果**が見られました。特に国語では、文章をしっかりと読み取り、自分の考えをもって表現する力が伸びています。理科では、観察や実験を通して「なぜだろう」と考え、確かめる姿が多く見られ、学習への意欲が高まっています。一方、**算数では、市や全国の平均をやや下回る結果**となりました。これからは、基礎的な計算力に加えて、考え方を説明したり、いくつかの見方で考えたりする力を育てていきたいと考えています。今までの学習の積み重ねが結果として表れています。

これからも、子どもたちが学ぶことの楽しさを感じ、自信をもって学びを深めていけるよう、学校全体で取り組んでまいります。(青色=本校、オレンジ=郡山市、グレー=福島県、黄色=全国)

